

令和7年度 第1回大垣市子ども・子育て未来会議 会議録

- 1 日 時 令和7年7月22日（火）10:00～11:30
- 2 場 所 大垣市役所8階 大会議室
- 3 議 題 (1) 大垣市第三次子育て支援計画の実績について
(2) 大垣市こども未来計画の実施計画（案）について
- 4 報告事項 (1) スイトピアセンターこどもんちの開設について
(2) ひとり親家庭等大学受験料等支援事業について
(3) 夏のこどもまんなか水都っ子月間について
(4) 大垣市こども未来条例施行記念講演会の開催について
(5) こどもまんなか意見交換会の開催について
(6) 大垣市児童館 夏まつりの開催等について
(7) キッズワークフェス in おおがき 2025の開催について

5 出欠席の状況

(1) 出席委員（敬称略）

| 区 分 | 氏 名 | 役 職 等 |
|------------------|---------|-----------------------|
| 学識経験者 | 光 井 恵 子 | 大垣女子短期大学 |
| | 藤 岡 恭 子 | 岐阜協立大学 |
| 子育てに関し優れた識見を有する者 | 井 上 直 美 | 大垣市民生・児童委員協議会 主任児童委員会 |
| | 増 田 英 雄 | 大垣市小中学校長会 |
| | 山 田 貴 史 | 大垣民間保育園連合会 |
| | 寺 元 陽 子 | 大垣市PTA連合会 |
| | 大 橋 奈麻輝 | 社会福祉法人 大垣市社会福祉協議会 |
| | 三 代 広 子 | 大垣市子ども会育成連絡協議会 |
| | 安 田 典 子 | 特定非営利活動法人 くすくす |
| その他市長が適当と認める者 | 竹 本 靖 彦 | 大垣市医師会 |
| | 村 橋 真喜子 | 連合岐阜西濃地域協議会 |
| 公募委員 | 松 好 和 子 | |

(2) 欠席委員（敬称略）

| 区 分 | 氏 名 | 役 職 等 |
|------------------|---------|------------|
| 子育てに関し優れた識見を有する者 | 平 野 宏 司 | 大垣私立幼稚園連合会 |
| その他市長が適当と認める者 | 三 輪 正 直 | 大垣商工会議所 |
| 公募委員 | 古 田 せ な | |

(3) 事務局：17名

毛利 正人（こども未来部長）

宮内 幸三（子育て支援課長）

高嶋 博一（子育て支援課長 こども家庭センター担当）

小林 晋（保育課長）

木村紀代美（保育課長 幼保・要保護児童対応・子育て支援センター・児童館担当）

水野 徹也（キッズピアおおがき子育て支援センター所長兼児童館長）

箕浦 利仁（子育て支援課 主幹） 鈴木 寛（子育て支援課 主幹）

伊藤 千恵（子育て支援課 主幹） 内山 良（子育て支援課 主幹）

渡邊 英佑（子育て支援課 主幹） 田中 宣光（保育課 主幹）

小泉 佳彦（男女共同参画推進室 主幹） 伊藤 絹代（保健センター 主幹）

田島 善之（社会教育スポーツ課 主幹） 林 のり子（学校教育課 主幹）

松原 和彦（子育て支援課 主査）

6 傍 聴 4名

7 記録方式 要約

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <会議冒頭あいさつ> ・団体の役員改選などにより、今年度から新たに増田委員、山田委員、寺元委員にご就任いただきます。 ・議事進行については、附属機関設置条例第5条第2項の規定により、会長は、会務を総理し、附属機関を代表するとなっているため、以降の議事は会長が執り行います。 |
| 会長 | ・委員の出席状況について、3名欠席ですが、出席者が過半数に達しているため、附属機関設置条例第6条第2項の規定により、会議を進行します。 ・会議の会議録は、市のホームページで公開しますので、ご承知おきください。 ・それでは議題に入ります。「議題(1)：大垣市第三次子育て支援計画の実績 |

| | |
|-----|--|
| | <p>について」説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p><「議題(1)：大垣市第三次子育て支援計画の実績について」説明></p> |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見やご質問がございましたら、ご発言をお願いします。 |
| | <p><意見無し></p> |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見なしということですので、「議題(1)：大垣市第三次子育て支援計画の実績について」は原案通り承認いたします。 ・続きまして、「議題(2)：大垣市子ども未来計画の実施計画（案）について」事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | <p><「議題(2)：大垣市子ども未来計画の実施計画（案）について」説明></p> |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・三次の計画から指標を整理されて、量等を把握していくという視点で今回の計画を策定しておりますが、ご意見やご質問がございましたら、ご発言をお願いします。 |
| A委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育園の質問になるのですが、基本目標 I の8番の一時保育の実施というのは、数字の見方が分かっていないかもしれませんが、基準値2,806に対して目標値11,400ということで、かなり数字に乖離がありますが、一時保育の受入れ人数でこのくらい受入れができますという目標値だと思いますが、これはどういう数字なのでしょう。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・基準値につきましては、令和6年度の一時保育を利用した延べ利用人数です。それに対しまして、目標値として設定している数字ですが、市内の実施施設について、一時保育として11,400人を受け入れられるだけの施設を確保していこうという数値です。こちらは事業一覧の米印で説明している子ども・子育て支援事業計画の中で、必要事業量に対して計画事業量として決めた数字を目標として設定させていただいているものです。 |
| A委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の中で、あまり知られてないことだと思いますが、子ども誰でも |

通園制度というのが、来年度から全ての自治体で実施しなければならないこととなっております。国主導で行われるということですが、要するに、誰でも携帯電話で1時間から保育園に預けられるので予約しようというような制度です。そういった託児所みたいなことが実施できるのかという、保育現場の立場からすると、ちょっと現実的でないなと思う制度です。

- そもそも一時保育というものがあるのに、なぜこども誰でも通園制度が出てきたのか。一時保育の現状について、民間保育園の園長からすると、ものすごいニーズがあると感じています。正式に保育園には入れられないけれども、一時的に預けて自分の時間なり、ちょっと仕事をしたりとかいろんなニーズに応えるのが一時保育ですが、今、ニーズに対して供給できる量が限られていて、実際その制度を実施できている園は数えるほどしかありません。
- その園が一時保育をやることによって、むしろ赤字を作っているという現状があって、ある園長先生と話す、一時保育はこれ以上続けられないかもしれないということでした。数字がこれだけ多いのは、最終的には必要なことで、親さんたちが安心して子育てをするためには、とても大事な制度だと思うのですが、それを支えている保育現場で、それを継続できないというのも実態としてあります。
- 一時保育の数字として増やしていこうという指針を持っているのであれば、事業を実施しているところを下支えするような制度を作っていただかないと、現場の感覚では難しいのではないかとというのが現状です。一方で、それをすることで子育てしやすい大垣市をつくっていくということがありと思いますので、その辺りを具体的なものとしてぜひ考えていただけるといいと思います。

B委員

- 今の発言に付け加えですが、今、保育士の皆さんからお聴きするのは一時保育で1人預かると、実際は保育士が1人とられてしまうということです。とても時間がかかるというか、お母さんしか接していない、預けられた経験がない子どもがくると、1人の保育士で3人預かれると言われても、保育士が1人とられるという状況です。そうなるとう他の園児をフォローする先生方が、すごく大変になると伺っています。
- ただし、困っているお母さんとか、ちょっと休ませてほしいお母さんに対してはもちろん利用して欲しいという保育士の声も聞いています。そういうところで、以前から話している潜在保育士の登用であるとか、ベビーシ

| | |
|-----|---|
| | <p>ッターの利用であったりとか、保育園側にだけ求めていくのではなくて、市の方が人材を用意したり、フォローする体制がとれるのではないかと思うのですが、そのことについて考えていく余地はあるのかどうかをお伺いしたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つ目は各課の連携についてですが、ただ子どもの居場所づくりをフォローするだけではなくて、地域のおじさん・おばさん運動の推進や土曜授業を使って地域の方との交流を行うというところで、色々な課によって子どもに対しての居場所づくりとかフォローの体制がすごく考えられていると思えるのでありがたいです。私達は個別に活動して、子育て支援課の皆さんにお世話になっていますが、それだけではなくて、ほかの課の皆さんと一緒にやらせていただければ地域づくりが図れるのではないかと思います。各課の連絡体制や協力体制は整っているのでしょうか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の確保ということで、引き続き補助金による確保策に取り組むほか、昨年度から通年での採用を始め、また、今年度の採用試験において通常より早い時期での採用試験も行っております。それとともに、離職防止も重要でございますので、離職防止と業務負担の軽減に引き続き取り組むことで、保育士を確保していきたいと考えています。 |
| B委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・一時的なプラスや人員配置だけでなく、継続的に実施していけるような体制をお願いします。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後研究していきたいと思います。 |
| C委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画を立てると目標数値があって、それも来年度だけじゃなくて5年間ということで、見させていただく中で、横ばいであったりとか、逆に言う子ども数が少なくなることで、少なくなる指標であったりとか、内容的に考えるとすごく苦慮されたものではないかなと思います。この基準値からどう判断していくかというようなところはあるのですが、例えば今のところもありますし、18番の病児保育の基準値が158で目標値が560と上がっていたりする。 ・先ほど話があったように、なかなかクリアされない部分を考えると、数値がどうなのかなということや、基準値から乖離する部分で例えば18番であったり、逆に7ページの48番の校内教育支援センターの充実で、指標は前 |

| | |
|------------|--|
| <p>事務局</p> | <p>年度を上回るというような表現で、ちょっと異質なところがあるので、どうなのかなと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 13ページの86番のファミリーサポートも、今年度の実績からみると、543から900に上げていて、先ほどの説明で十分私が理解していないのもありますけれども、この目標値までどのように持っていくのかなというところがあります。 ・ 18ページの125番のアプリのダウンロード数ですが、今年度は昨年度に比べると急に1500で、あとは横ばいというところで、新規であれば1500はありえますけれども、この流れはどうなのかなと思いました。いくつかお話をさせていただきましたが、目標の意図するところで教えていただけることがあれば、よろしくお願いします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の説明をさせていただく前に、実施計画の方をご覧いただきまして、事業概要に米印がついているものがあります。例えば上から三つ目ですと、幼児教育の場の提供がございまして、事業概要のところにも米印で、子ども・子育て支援事業計画という記載がございまして、これは、こども未来計画の中には市独自の計画だけではなく、国が規定する子ども・子育て支援事業計画に基づく項目がございまして、この項目については、全国一律に国が算定式を示して、利用状況であったり施設数であったり、そういったものを当てはめて目標数字を設定することになっていきますので、基準値から乖離が生じることもあるということがございます。例えば3番もそうですが、実際の利用数ではなく、国の計算式を参考に、ここまでのキャパは用意しておくといったような計画となっております、可能数といったようなところで書いております。そのため、基準値と提供可能数で乖離が発生することがあります。 ・ 先ほどの委員さんの発言で、誰でも通園制度というものがありましたが、これは実施計画書の13ページの88番、子育て支援、家庭教育支援といったところで、子ども・子育て支援事業計画に位置づけられ、本市未満児の未就園児の利用時間分の定員枠として「78人程度」を用意しなさいという考え方が示されておりますので、その人数を設けていくということです。一時保育に絡んでですが、先ほどご指摘の通り、誰でも通園制度の10時間では、初めて来た子どもは泣いて保育士に慣れる前に終わってしまうような短時間なので、実際は一時保育の方が、利用としては実績もありますし、子どもとの繋がりということがあったと思いますが、これはそのような仕 |
|------------|--|

| | |
|-----|--|
| | <p>組みとして求められておりますので、そういう形でやっていきたいと思 います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7ページの48番につきましては、教育委員会と協議しまして、多い方が いいのかといえば、生活保護と同じで、どういうものがいいのかという ところがあります。前年を上回るといふ、数値化されてない部分があるとい うことかもしれません、このように落ち着いたという状況です。全体の考 え方としては、このようになります。 ・18ページの125番の子育て支援アプリにつきましては、ご指摘のとおりア プリの更新を行いますので、更新の初年度ということで、このようになっ ております。 |
| D委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・重複なのかを確認したいのですが、93番と22番で身近な相談窓口が同じ数 字で上がってきていますが、これはどのようにとらえていらっしゃいます か。 ・利用者支援については、基本型の中にⅠ型、Ⅲ型といったものがありま すが、それらを含めて何か所という形で考えられていますか。 ・あと1点、前の計画ではみんなで支えるまちづくりとしてNPOのことが記載 されていましたが、今回は、18ページの基本目標Ⅲ基本施策3の子育て支 援に関わる人材の育成、支援につながる情報発信のところ、NPOとの協 働とかNPOを育成するといったところが消えてしまっています。国の方か らは、生活地域の支援の厚みを出すというところで、NPO等、いろんな人材 を育成していくということだと思ふのですが、そういうところが抜けてし まっているので、どのように考えているのか教えていただきたい。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・14ページの93番については、Ⅰ型、Ⅲ型全て含んだものの数になっていま す。 |
| D委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・とにかくⅢ型を増やしていきたいというようなイメージでいいのですね。 それが周知されるために、指標として増やしているということで理解して よろしいですか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区ごとに設置していきたいと考えています。 |
| D委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援事業という、市民の方には分かりづらいということで身近な |

| | |
|-----|---|
| | <p>相談窓口という言い方で広がっていくといいと思います。これだけ大垣市が良い施策を実施していても、使う場所がわからない場合、細かく説明する人がいないというのが、いつも会議で出てくると思いますので、いい方向になっていくといいと思います。</p> |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のありましたNPOの支援というところでございますが、こちらの事業は、実施計画の中の指標としては位置づけていないですが、他の所属で把握しているものもありますので、その実績の数字については把握していると考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。 |
| D委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育ては、賃金とかすごく大変な中で、ボランティア等の活動をする人が減っていく状況があります。そうしますと、子育てを応援する団体等が増えていくような、既存の団体ももっと充実していくようなことを指標の中に入れていく必要があると思います。他の課でやっておられたとしても、こちらの計画に反映させるよう、ぜひ入れていただくことができないかということも検討していただきたいと思います。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見ありがとうございます。事務局で持ち帰らせていただきまして、検討させていただきたいと思います。また内容につきましては会長と、ご相談をさせていただきながらということでご了解いただきたいと思います。よろしくお願いします。 |
| B委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・最近、お母さんたちと接する中で、誰がしてくれるのかが分からないということをよくおっしゃっています。調べてみると、大垣市の事業として挙がっているのですが、実際どこの課がやっていて、それを誰がやる、何をしてくれるのかが分からないということがあり、その案内がどこにも無いとおっしゃる方もいます。 ・表みたいなのがありますが、実際に子ども達のお母さんが見られたときに言われたのは、誰が私の話を聞いてくれるか分からないから話せない、私のことを理解してくれるわけがない、ということをお聞きしました。 ・市の支援でもいろいろ検討されている中で、こんなことやってます、ここでやってくれます、という案内がないように思いますが、あえてされていないのか、今後予定があるのかお伺いしたいです。 |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民の皆さまに対する情報発信不足という部分もあろうかと思えます。市民が見ると分かりづらく、もっと情報が欲しいというお話だと思えますので、情報発信の仕方を皆さまに分かりやすくというところで工夫をするように努力させていただきますので、よろしくお願ひします。 |
| D委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・先ほどのベビーシッターさんの話で、市の一時預かりではない、そしてファミリーサポートでもなく、エンゼルサポートでもないニーズが高くなっているということですね。都会の方では、ベビーシッター会社がありますが、そうではない地域では、対応して下さる人がなかなかいらっしゃらない。そういう制度がないからかもしれません、そういったところの支援として一時預かりも大変だし、有料のファミサポも提供会員さんのいろんなことが課題になっている中で、新たなサービスをやってもいいよと言って下さる方がちらほらいます。その方々を支援する補助を市民活動の方でやっていますが、そこを先ほどの指標に入れていただくことで、市もそういったことを求めているのだなと分かるような形にさせていただけたらいいと思ひます。これは希望です。 ・この会議の中の意見をどのように反映していただけるのかということを示していただきたいと思ひます。計画につきましては、PDCAサイクルを回していきたいというお話をされていますけれども、今まで数値目標の達成に向けた具体的な内容に踏み込むことがないこの会議の中で、PDCAサイクルまでどうやって回すのだろうと、いつも思っているところです。この会議はそういう役割を担ってるといわれておりますので、その辺りもこの会議の在り方を含めて考えていただけたらと思ひます。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・会議の在り方ということで、冒頭にご挨拶させていただいた中で述べさせていただきましたけれども、進捗状況であるとか実績報告で、なかなか議論が掘り下がないというご指摘ですが、今回は計画策定に向けても、各論というか、それぞれテーマを示した中でご議論いただくことをやりましたので、実績の状況とか、そういったことについても、ご議論いただいた意見を聞いたりしながら会議をしていきたいと考えております。 ・また、サービスや支援が使いにくい、どこに尋ねていいかわからないというお話をいただきましたが、周知の問題で申し上げましたが、使いにくいとか、届かないとか、そういったことがないように積極的に情報発信していきたいと思ひます。 |

| | |
|-----|---|
| D委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい意見が出てきたときは検討しますとおっしゃいました。この会議はそういうPDCAサイクルを回していくから、良くなかったところを変えていくし、新しく出たところは追加してもいい、という考え方は認識しているのですが、そういう意見が出た場合、反映したというものがあれば、こちらの会議にフィードバックしてほしいです。それが年に2回しかなかったらどうやってするのかというのを考えます。 ・そういう仕組みになっているのか、最初に計画いたしました、そして事業を実施しました、これを年2回という中でPDCAサイクルをどのように回していくのか、この辺りは少し突っ込んで考えていく必要があるかと思いません。 |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・そういう部分では、また検討していただくということでお願いします。 |
| A委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所のことは、今とても話題になっていて、今年度から児童館を支援センターに作るなど、そういうことで動いてみえるのはとてもすごいなと思っています。先日うちの園に、3人のお子さんがみえるお母さんが入りたいということでみえました。その方は、仕事をされていますが、休みの日は、お父さんと一緒に出かけると。お父さんは常に厳しく叱るから、自分も気分が悪くなるので、1人で3人を連れ出さなきゃいけないという状況のようです。それは、家族の問題ではないかというようなことがあります。それはそれとして1人で3人を連れて行くとなると、どこに行けばいいのかということになります。そのお母さんに、とっても助けられていると聞いたのは、今日ここに来る前に、子育て支援課の前に子どものスペースがありまして、そこに子どもの居場所カレンダーがあって、7月8月の間、何をやっているかとか、とても多様な居場所について大垣の中でやってみえることを、スケジュールとして分かるものがありまして、その中でも、子ども食堂をやってみえるとか、西の方ですとわっと広場さんとか、そういうところで本当に助けられているということです。 ・こどもんちとか児童館とかは行かないのか聞きましたけど、お母さんたちが求めているのは、色々な親御さんたちがいたりして、スタッフさんがおおらかに子ども達を見てもらえるという場所です。この場所でこれをやらなくてはダメとか、怒られるからダメとか、走ったらダメとか、建物の中でいろんなルールがあるようなところだと、自分が肩身の狭い思いをすと思うそうです。そういう親さんたちが集まってきて、みんなでおおら |

かに見て、自分の子じゃない子どもでも悪いことしたら、そこで人に叱ってもらおうとか、そういう環境が、結構その居場所や食堂の中にはあるんですって言うてみえて、そういうところだと、自分が気楽に過ごせるということでした。一方で、規律とか、どこかのショッピングセンターでもそうですけど、子どもが走ったら、その辺りで何かの物を持ったら、触ったら、ひっくり返ったらどうしようというのがお母さん達の休日の過ごし方になっています。

- 子育てを安心してできるとか、社会の中で自分の子どもを産んでよくなったなって思えるのは、周りの人たちから温かく見守られながら自分1人で全部背負わなくてもいいんだと感じられる時じゃないかと思っています。そういうものを感じられる場としては、保育所もそういう場所だと思っていますし、この数字を見ても、子どもが減っているのに子育て支援センターに訪れている人が増えていること、キッズピアもずっとそうやって活動されているということで、子どもが減っている中でこれだけニーズがあることは、今のお母さんたちは、家庭の個室で子育てするのは厳しい状況にあるのだらうと思います。そういう中であれだけの居場所を書いて、各団体とかを記載していることは、すごく先進的でとてもいいことだと思います。ただ、実際問題として、お金がかからないことはすごく大事です。また、外でやれない部分もいっぱいあるので、建物があるかどうかはすごく大きいことだと思います。そのため、児童館等が本当に重要な場所だと思っています。
- 南につくられたので、市内で初めてつくられたものが、とても大事な第一歩だと思っています。そこから、各地域で子ども達が自分の足でもいけるような子どもの居場所が、これから増えていかないといけないと思います。
- 少子化を考える場所ではないかもしれませんが、そのお母さんも「こんなふうだったらもう本当に子ども産めないですね。他のお母さん達も、もう1人産もうと思えないと思います。なんか貧乏くじ引いた」みたいなことをおっしゃっていました。こうやって保育園に入れさせてもらえることはありがたいとおっしゃっていました。
- そういう方ばかりではないかもしれませんが、そういう方は多いのではないかと考えます。今スタートしたばかりで、夏休みに児童館の果たす役割は大きいと思っていますし、私達の法人がやっている学童保育というところもあるんですけども、夏休みは今でもキャンセルを待っていて、既に

| | |
|------------|--|
| | <p>始まっていますが空いたら連絡くださいという人がまだいる状態です。夏休みは、子どもたちにとってはすごくワクワクする期間なのですが、親にとっては、ドキドキする期間です。本当にそういうことを支える場として児童館や、このこどもんちがどのような役割を果たしていくのか、具体的に発信しつつも、その居場所で寛容な大人たちが緩やかに、子どもたちを見守れるような環境があれば、それでこそ意味があるのではないかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お聞きしたいのは、児童館がスタートして数か月が経っていますが、どれほど機能して、子どもたちが活動できるのかということをお教えいただければと思います。 ・児童館が4月から始まりまして、たくさんのお子さんに来ていただいています。また夏休みなどもありまして、元々は未就学のお子さんを対象とした施設でしたが、徐々にではありますが、就学しているお子さんも知っていただけるようになってまいりまして、少しずつ利用者数としては増えているかと思います。職員としてはケガとかをさせたいと問題がありますし、時々親さん同士でもめられることもありますので、職員として危険な状態というか、そのようなときは、注意をさせていただくというのが現状です。 ・夏休みに入りまして、この19日から学習室として部屋を開放しておりますので、学校等の方にもその周知を行っております、高校生までの方にご利用いただけるように、施設もいろいろ手探りなんですけれども、改善しながら進めていきたいと思っています。 |
| <p>事務局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・児童館が4月から始まりまして、たくさんのお子さんに来ていただいています。また夏休みなどもありまして、元々は未就学のお子さんを対象とした施設でしたが、徐々にではありますが、就学しているお子さんも知っていただけるようになってまいりまして、少しずつ利用者数としては増えているかと思います。職員としてはケガとかをさせたいと問題がありますし、時々親さん同士でもめられることもありますので、職員として危険な状態というか、そのようなときは、注意をさせていただくというのが現状です。 ・夏休みに入りまして、この19日から学習室として部屋を開放しておりますので、学校等の方にもその周知を行っております、高校生までの方にご利用いただけるように、施設もいろいろ手探りなんですけれども、改善しながら進めていきたいと思っています。 |
| <p>会長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ほかにご意見よろしいでしょうか。 <p><意見無し></p> |
| <p>会長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ほかにご意見なしということですので、先ほどいただいた課題については、また検討していただくとして、「議題(2)：大垣市こども未来計画の実施計画（案）について」は原案通り承認いたします。 ・これより報告事項へと移ります。事務局から説明をお願いします。 |
| <p>事務局</p> | <p><「報告事項(1)：スイトピアセンターこどもんちの開設について」説明></p> |

| | |
|------------|--|
| | <p><「報告事項(2)：ひとり親家庭等大学受験料等支援事業について」説明> <「報告事項(3)：夏のこどもまんなか水都っ子月間について」説明> <「報告事項(4)：大垣市こども未来条例施行記念講演会の開催について」説明> <「報告事項(5)：こどもまんなか意見交換会の開催について」説明> <「報告事項(6)：大垣市児童館 夏まつりの開催等について」説明> <「報告事項(7)：キッズワークフェス in おおがき 2025の開催について」説明></p> |
| <p>会長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本日の協議事項としてはこれですべてですが、何か全体を通して発言があれば、お願いします。 <p><意見無し></p> |
| <p>会長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・人を育てることは時間がかかるものですが、生まれてくる子、保育園児、小学生、中学生、高校生に少しずつ自分たちの未来を自分たちで考えてくれる子に育ててほしいと思います。そのために、今回の意見交換会は、少しずつですけれども、思いを伝える機会ということだと思います。最近西濃地区の他の自治体で話を聞きますと、大垣市は中核の都市だと思います。職員の方もすごく勉強されて条例等を作られていますし、こういった会議で代表として集まっていた方のご意見を検討していく視点が大切だと思います。そういった意見が、大垣市がさらに発展していくきっかけになっていくこと、子育てしやすいまちになっていき、引き続いていくことを願っています。皆さまのご協力をお願いします。 ・以上で本日の協議事項は終了となります。 ・ここで議事進行を終わらせていただきます。ご協力いただきありがとうございます。それでは、事務局にお返しします。 |
| <p>事務局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。また皆さま、本当に今日は貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。 ・それでは以上をもちまして、令和7年度第1回子ども・子育て未来会議を終了します。本日はありがとうございました。 |